


2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【北九州市】

学校名【北九州市立 高生中 学校】

1 実践テーマ	I ・ II ・ III ・ IV ・ V (複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	講話：全校生徒（292名） ボッチャ体験：第2学年（107名）
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (保健体育科) ② 行事名 () ③ その他 (全校集会) (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	○障害者が生活する苦労や工夫を知り、体験や講話を通じて考え、障害をもった方たちと共生する豊かな社会を作ろうとする心を養う。 ○ボッチャを体験することで、オリンピック・パラリンピックの意義を理解し、障害のあるなしに関係なく誰もが気持ちよくスポーツに関わる心を養う。
5 取組内容	○オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業についての事前アンケートを実施。 ○オリパラ推進教員が、オリンピック・パラリンピックの歴史や意義について講話を行った。 

	<p>○文化発表会でオリンピック・パラリンピックについて、ちぎり絵を制作。</p>  <p>○ボッチャの体験。</p>  <p>○校長先生が2020東京オリンピック・パラリンピックについて、北九州市における取組や外国人との交流等について講話。</p> <p>○オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業についての事後アンケートの実施。</p>
<p>6 主な成果</p>	<p>○オリンピック・パラリンピックについて、生徒の理解や関心が高まった。</p> <p>○ボッチャを通じて、オリンピック・パラリンピックの意義を考え、様々な人が共生する社会を作ろうとする心を養った。</p>
<p>7実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<p>○昨年度より、保健体育の授業で取り上げている単元(種目)について、オリエンテーションとして、授業の導入時にオリンピック・パラリンピックの歴史や選手の紹介等を行っている。</p> <p>○来年の2020東京オリンピック・パラリンピックへ向けての関心が高まる中で、それ以降も運動を楽しむ心や他者と共生する心を養うことに重点を置いた。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>○講師による講話や、単発の体験会ではなく、長い期間をかけてオリンピック・パラリンピックの歴史や意義を生徒に感じさせることが大切であると感じた。</p> <p>○予算や年間の活動計画に余裕がない。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>○今年度と同様に、来年度もオリンピック・パラリンピックを中心に、運動に親しむ心を養い、他者理解を深める。</p>